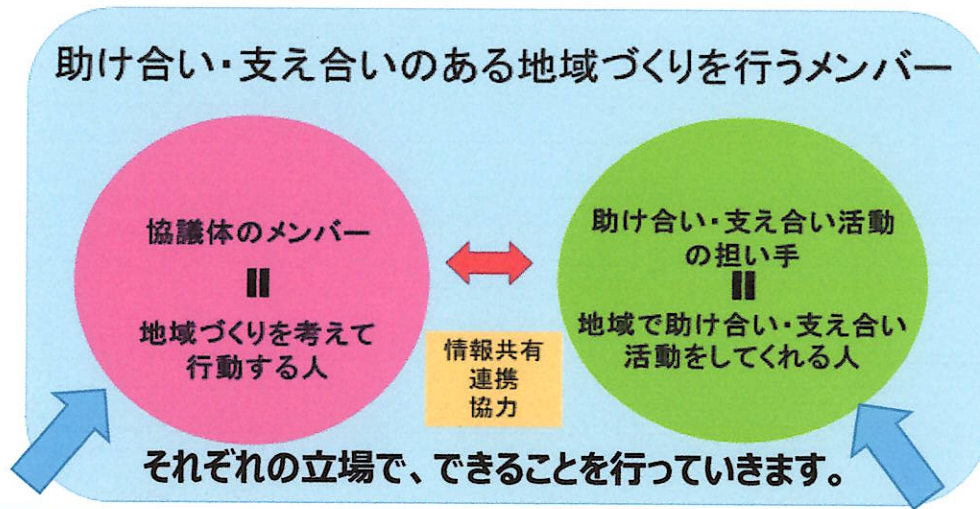




# 助け合い・支え合いのある地域づくりのメンバー(仲間)を募集しています！

助け合い・支え合いのある地域づくりは、協議体のメンバーと助け合い・支え合い活動の担い手が情報共有・連携・協力をして行っていくものです。



第2層協議体(話し合いの場)に参加して、地域づくりを考えます。

**協議体のメンバーは、  
助け合い・支え合い活動の担い手とのつなぎ役です！**

## 助け合い・支え合い活動の担い手は、例えばこんな方々です！



私たちはサロン・居場所のサポートやお手伝いをしています。



私たちは今まで通りにボランティアなどの活動を続けていきます。



私たちは困っている人のゴミ出しや買い物などのお手伝いができます。



私たちは地域での見守りができます。

**この他にも、これから地域のために何かをしたいと考えている方もメンバーです。関心のある方はぜひご連絡をお願いします。**

協議体のメンバーが話し合った内容や知ったことを、それぞれの地域・組織や団体などに話をし広めていくことで、各活動の活性化、各活動との連携強化、住民への周知・活動の周知になります。

地道な活動になりますが、そうしたことを行いながら助け合い・支え合いの輪を広めていくことも重要な活動です。

# 助け合い・支え合いのある地域づくりが始まっています！

事業名：生活支援体制整備事業

～矢板市社会福祉協議会は、矢板市から生活支援体制整備事業の委託を受け、高齢者の方がいつでも住み慣れた地域で元気に過ごすことができるよう、助け合い・支え合いのある地域づくりに取り組んでいます。

泉・矢板・片岡（中学校区）の3地区を生活圏域として地域づくり勉強会を行い、第2層協議体発足に向けた準備会を行っています。これまでの取り組みについては、機関誌として発行し、社会福祉協議会のホームページにも掲載しています。機関誌をご希望の方はご連絡ください。

## 第2層協議体とは、『助け合い・支え合いのある地域づくりを行うための話し合いの場』です。

地域にあるいろいろな組織・団体・活動・個人などから助け合い・支え合いに関心のある方に参加をいただき、地域の情報（地域にある困り事やすでにある助け合い・支え合いの活動など）を集め、困り事を解決するためにどんな方法があるか？すでにある活動をより充実させたり、広めていくにはどういったことが行えるか？などを話し合ったり、必要な調査や勉強など行っていきます。

### 助け合い・支え合いのある地域づくりを進めていく上でのキーワード

#### ①できることから

まずは取り組みそうなことから行っていきます。

#### ②無理のない範囲で

それぞれが無理なくできることを行っていきます。

#### ③続けていく

地域づくりは、時間や労力を要するものです。また一度仕組みを作ったからそれで終わりというわけにはいきません。**できることを無理のない範囲で続けていくことがとても大切になります。**



私たちと一緒に助け合い・支え合いのある地域づくりを行ってくれるメンバー（仲間）を募集しています！詳細は裏面をご覧ください。

関心のある方、どんなことを行うのか詳しく知りたい方は、お気軽にご連絡ください。



矢板市社会福祉協議会

電話 44-3000 FAX 43-6661

生活支援コーディネーター 川畑・只木・吉田

